

伝言板

●水道管も冬支度をしましょう

寒さの厳しい季節、気温が氷点下4度以下になると、凍結により水道管が破裂するおそれがあります。大変危険で日常生活に支障をきたすことになり、また、思わぬ出費を招くことにもなります。水道管を破裂させないため、次のことにご注意ください。

注意事項▶屋外に露出している水道管や蛇口は、乾いた布や毛布などでくるみ、その上から防水のためにビニールテープを巻く▶水道メーターは、ビニール袋に砕いた発砲スチロールや布などを詰め、メーターボックスの中に入れて保温する

●問い合わせ水道業務課へ内線2316

毎月2日は
ノーレジデー



防災一口メモ

●避難所での生活と心得

大規模地震が発生した場合、被害の状況によっては最寄りの避難所に避難することが想定されます。避難所には高齢者、障害者、けがや病気に苦しむ人、日本語が理解できない外国人など、支援を必要とする人々が多数避難してきます。

阪神・淡路大震災では、ある避難所で救援物資の奪い合いが起き、高齢者や子どもに公平に物資が行き渡らないなど、物資配分上の問題が発生しました。また、避難スペースが、早く避難所に到着した順に決まってしまうなど、スペース配分上の問題もあったようです。

避難所の運営は、公平・公正が大原則です。避難者が精神的に不安な状態だからこそ、譲り合いの精神が大切です。避難所の生活は、トイレなどの環境の整備や物資の調達・管理を協力して行うため、リーダーの選出・名簿作りから始まり、避難者の同意のもとで生活上のルールが作られます。喫煙や飲酒が制限される場合もあります。

●問い合わせ交通防災課へ内線3694

●消防本部からの報告

11月の火災件数8件(建物4件、車両0件、その他の火災4件) 救急出動件数410件 搬送人員386人

●人口と世帯 ※12月1日現在。()内は前月比

	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	81,835人(-45人)	792人(+9人)
女	78,646人(+6人)	964人(+9人)
合計	160,481人(-39人)	1,756人(+18人)
世帯	60,825世帯(+7世帯)	1,381世帯(+13世帯)

●住民基本台帳法に基づく年齢別人口

14歳以下	21,538人(13.42%)
15歳～64歳	116,746人(72.75%)
65歳以上	22,197人(13.83%)

1月の狭山ケーブルテレビ

☎0120-340-379 ☎956-5630
e-mail: ch9@staff.s-cat.ne.jp
http://www.s-cat.ne.jp

○みんな茶やま▶狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ、字幕付)▶自治会の時間▶すこやか体操▶は〜いお手紙です

○ちゃっぴいアワー▶ニュース▶サポートねっと(WAVE・狭山商工会議所情報番組、ふるさとの行事と食1月ほか)▶カレッジステーション(のびゆく武蔵野、国際理解への第一歩ほか)▶ティーブレイク(塩田正行氏、小松原優氏、尾崎ナンサー氏、中村さつき氏ほか)▶地域経営者▶特集(いしかわ事務所ほか)▶いろいろばたの昔ばなし「馬頭さまになった馬」

○ちゃっぴい撮影隊▶新春特番日本舞踊「雅の会」国立劇場公演より(1日～6日)▶入間川中学校進路講演会「ソニーとともに歩んだ私の半生から」ソニー副社長・高篠静雄氏(1月21日～27日)

●新年特番▶新年のごあいさつ▶祝(食)して狭山▶青舞会50回記念ゴルフ大会▶狭山市吟詠・剣詩舞大会▶狂言入間川▶日本舞踊「雅の会」国立劇場公演ほか

1月1日～6日は、すべて新年特番をお届けします。テーマは狭山にちなんだ「食」。地域の食材を利用した伝承の料理などを紹介。その他、毎年恒例の企業・事業所・市民のテレビ年賀状など、充実した内容です。ぜひご覧ください。

お・茶・香・る・ま・ち

SAYAMA
CITY
さやま

◆狭山市広報・お知らせ版 VOL.378
◆発行日／平成14年12月25日(毎月10・25日発行)
◆発行／狭山市 ◆編集／狭山市総合政策部広報課
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5
☎042-953-1111(内線7162) ☎042-954-6262
テレホンガイドさやま☎0120-460-380
ホームページ http://www.city.sayama.saitama.jp/

編集後記

先日の休みに大掃除をしました。私の担当はガラスふきと障子張り。近くのスーパーで障子紙などを買い、慣れない仕事に精を出しました。子どものころは、あちこちの家で一年間の締めくくりとして、昼を上げ、はたきを持つてのすす払い。そして大掃除が終わると、次の行事は餅つきです。正月を迎えるための年末の仕事を家族全員が協力していたことを思い出しました。最近では元旦からいろいろなお店が開いていて便利になりましたが、その反面、正月という感じがあまりなくなったような気がします。今年も残すところわずかになりました。来年も広報紙や公式ホームページでは、季節感のあるイベント情報などを数多く紹介していきたいと考えています。皆さん、ぜひ自分に合ったイベントを探し、参加してみたいはいかがでしょうか。 ⑩

先日の休みに大掃除をしました。私の担当はガラスふきと障子張り。近くのスーパーで障子紙などを買い、慣れない仕事に精を出しました。子どものころは、あちこちの家で一年間の締めくくりとして、昼を上げ、はたきを持つてのすす払い。そして大掃除が終わると、次の行事は餅つきです。正月を迎えるための年末の仕事を家族全員が協力していたことを思い出しました。最近では元旦からいろいろなお店が開いていて便利になりましたが、その反面、正月という感じがあまりなくなったような気がします。今年も残すところわずかになりました。来年も広報紙や公式ホームページでは、季節感のあるイベント情報などを数多く紹介していきたいと考えています。皆さん、ぜひ自分に合ったイベントを探し、参加してみたいはいかがでしょうか。 ⑩